

山田みやこの活動報告

平成30年8月11日(土)

子どもSUNSUNプロジェクトに参加

子どもの貧困をなくそうというテーマで各地域で支援活動を行っている方々が一同に集った。

宇都宮東部地区(清原)にて「こどもの居場所」を9月3日に開設。さらに「SUNSUNプロジェクト清原円卓会議」を準備中。

清原地区連合自治会長、社会福祉協議会、清原地区の小・中・高・大学の各校長、市民有志等で立ち上げ。居場所+食支援+フードバンク+学習支援+相談の機能を地区内に備えていく予定としている。

課題としては「居場所」事業は宇都宮市補助事業であるが、年間200万~300万の不足が見込まれるため寄付・ファンドレイズが必要となる。

多くの方々の理解と資金協力が「かなめ」になる。SUNSUNプロジェクトに関わるサポーターやボランティアの関わりをどうやっていか仕掛けづくりを考えていく。

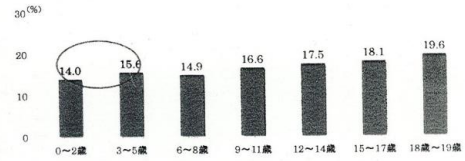
それぞれの地域ごとに活動はしていくが、宇都宮全体での取り組みに結びつけ、「居場所」「子ども食堂」開設の協力体制を整えていくことが、SUNSUNプロジェクトの成功につながる。

未就学児の託児ニーズ調査(中間)報告が、宇都宮共和国 蟹江教授よりあった

5. まとめ

1. 夜間保育(30人利用)	1776万円
2. 宿泊を伴う一時預かり (ファミリーサポートを利用、116泊)	140万円
3. 緊急時の一時預かり (ファミリーサポートによる8時間保育を8.3日実施、157人が利用)	840万円
合計2756万円	

1.1 就学前の子どもの貧困状況



出典：阿部彰2014、「相対的貧困率の動向：2006、2009、2012年」、貧困統計ホームページ

1.2 宇都宮市における推計数

年齢	人数	貧困率	推計値
0歳	4,324	14.0%	605
1歳	4,470		626
2歳	4,677		655
3歳	4,866	15.6%	725
4歳	4,648		725
5歳	4,663		727
合計	27,648		4,064

資料：宇都宮市H-P、年齢別人口（平成30年6月末）

2.1 宇都宮市における延長夜間保育の現状

保育所・認定こども園	家庭的保育事業	小規模保育事業
開所時間	開所時間	開所時間
18:30 1	17:00 2	18:00 1
19:00 66	18:00 4	19:00 25
19:10 1	18:30 4	19:30 1
20:00 4	*0~2歳、3~5人	20:00 1
21:00 2		21:00 2
22:00 1 (50)		22:00 1 (18)
		*0~2歳、12~19人

資料：宇都宮市2018、『平成30年度教育・保育施設等入所の概要』

2.2 宇都宮市における認可外保育施設の現状

開所時間	定員	在籍者(2016.4)	宇都宮市の認可夜間保育園利用料金
		0~2歳 3~5歳 合計	
8:00~8:00	30	12 10 22	0歳~2歳 60,000円
8:00~3:00	30	14 10 24	3歳~5歳 40,000円
8:00~24:00	30	14 9 23	夜間保育におけるひとり親家庭の割合 約30%
24時間	75	13 15 28	山縣文治池1997、『夜間保育の新たな課題』、大宮市立大学生活科学部 総数45名p1~9 夜間保育園への問い合わせ先
合計	165	53 44 97	0~2歳 16人×6万円×12か月=1152万円
			3~5歳 13人×4万円×12か月= 624万円
			合計 1776万円

資料：栃木県健康福祉部こども政策課2016、『平成28年度 教育・保育施設等入所』

*ベビーホテル：20歳以上の保育、宿泊を伴う保育、一時預かりの子どもが利用者の半数以上

3. 宿泊を伴う一時預かり

- 子どもを泊まりがけで預けなければならないことがあった人の割合 18.2%
 - 日頃、子どもを見てもらえる親族や知人がいない人の割合 15.6%
- (資料：宇都宮市2015、『宇都宮市子ども・子育て支援事業計画』)

$$4,064人 \times 18.2\% \times 15.6\% \times 15時間 \times 800円 \approx 140万円$$

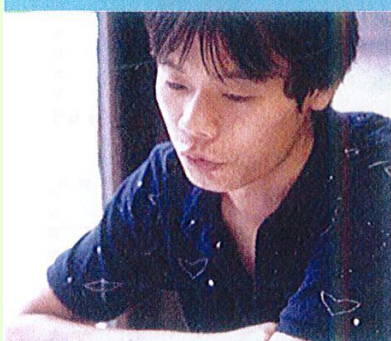
4. 子どもが病気時の一時預かり

- 病气やけがで通常の教育保育授業が利用できなかった人の割合 73.3%
 - 利用できなかった場合、母親が休んだ人の割合 32.4%
 - 父親/母親が休んで対応した人で施設に預けたい人の割合 16.3%
 - 施設に預けたい日数(年間) 8.3日
- (資料：宇都宮市2015、『宇都宮市子ども・子育て支援事業計画』)

$$4,064人 \times 73.3\% \times 32.4\% \times 16.3\% \times 8.3日 \times 8時間 \times 800円 \approx 840万円$$

2018年度 とちぎYMCAの集い ワイズメンズクラブとYMCAの協働事業
『子どもの居場所（宇都宮東部地区）』スタート記念・清原地区子どもの貧困撃退円卓会議発足記念

逆境を乗り越える！ “折れない心”を育てる ～現役宇大生 内田くんの半生に学ぶ～



入場無料
申込先着
150名

9月1日 土

内田 恵(うちだけい)

- ・さいたま県出身、宇都宮大学農学部2年生
- ・ドメスティックバイオレンス(DV)、親の疾病、生活の困窮、保護施設への入所、中学でのいじめなど家庭と社会とのかかわりに課題を抱えながら少年時代を過ごす。
- ・逆境を支えてくれたのは5年間通った学習支援教室のスタッフなどの心に届く「関係性」の支援だったという。
- ・支援を受けながら高校進学、大学への推薦合格を果たし、将来は、課題を抱える子どもの心に寄り添える教員を志望しているという。
- ・現在も毎週、ボランティアとして地元の学習支援室へ宇都宮から通い、課題を抱える子どもたちを支えている。

会場 宇都宮美術館 講義室
宇都宮市長岡町1077

時間 14:30 ~ 16:00
(開場14:00)

申込み とちぎYMCA
028-624-2546

- ◆主催：とちぎYMCA
- ◆共催：宇都宮ワイズメンズクラブ・宇都宮東ワイズメンズクラブ
- ◆協力：子どもSUNSUNプロジェクト
- ◆後援：宇都宮市



◆折れない心はどのようにして育てられ、
どこからやってくるのでしょうか？

地域や社会からの孤立、関係性の貧困、経済的困窮、虐待の連鎖など、課題を抱える子どもたちが人知れず増えています。

わたしたちYMCAは、すべての子どもたちに「逆境を乗り越えることのできる折れない心」がもてるポジティブネットのある豊かな社会を目指します。子どもたち一人ひとりの未来と可能性を開花させることのできる社会づくりへのヒントが、半分青年で半分成人の内田くんの半生から学ぶことができます！